第１・２回各務原市学校建替基本方針策定委員会

NEWSLETTER Vol.1-2 合併号

●市内の小中学校施設は、建設から 30 年以上を経たものが全体のほぼ 9 割を占め、その中でも古い校舎は建て替えの時期が近付いている状況にあります。
●本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、これからの学校施設のあり方について「各務原市学校建替基本方針策定委員会」を設立し、調査･審議を進めていきます。
●ここでは、委員会の会議内容を紹介していきます。

1. 第１回各務原市学校建替基本方針策定委員会を開催しました。

令和 4 年 8 日 10 日（水）午後 1 時 30 分より第 1 回各務原市学校建替基本方針策定委員会（以下、委員会といいます。）を各務原市産業文化センターで開催しました。委員長、副委員長が選出されたのち、加藤教育長から委員長に諮問書が手渡され、事業概要の確認などが行われました。

■委員に委嘱状が交付され、鈴木教授が委員長に就任されました。

委員会の委員長には、名古屋市立大学大学院教授の鈴木委員が、副委員長には、中部学院大学教授の服部委員が選出されました。

▲鈴木委員長に学校建替基本方針に関し諮問する様子

■各務原市における学校施設の「あるべき姿」を検討していきます。

今後の校舎の建替えにおいて、計画的で円滑な学校施設建替の推進を図るため、各務原市の学校施設の「あるべき姿」や「整備の進め方」などについて、基本的な方針を策定します。

<第 1 回の議事>
- 委員長・副委員長の選出
- 「会議の公開等に関する要領（案）」について
- 事業の概要について

▲第 1 回委員会の会議の様子

2. 第 2 回各務原市学校建替基本方針策定委員会を開催しました。

令和 4 年 11 日 11 日（金）午後 1 時 30 分より第 2 回委員会を各務原市産業文化センターで開催しました。建替基本方針の基本理念、考え方について確認するとともに、新しい学校づくりの事例紹介や委員会の検討フローについての検討がされました。

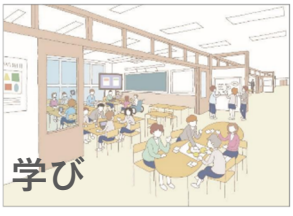
<第 2 回の議事>
- 基本理念、考え方について
- 他都市における新しい学校づくりの事例について
- 委員会の検討内容について（検討フロー(案)）

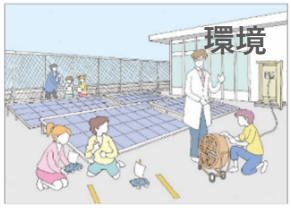
■検討内容の「5 つの視点」

学校施設全体のあらゆる空間を学びの場として捉えなおし、各務原市の新しい時代の学び舎として「あるべき姿」について、主に「学び」、「生活」、「共創」、「安全」、「環境」の 5 つの視点から検討を進めます。

参照：『新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について』文部科学省

▲第 2 回委員会の会議の様子





3. 他都市における新しい学校づくりの事例を紹介しました。

各務原市における学校施設の「あるべき姿」を検討する中で、具体的な他都市の事例を参考にしながらイメージの共有を行いました。ここでは、いくつかの取り組みをご紹介します。

ラーニングセンターの事例

知識や情報の共有化がしやすい、図書室と ICT 環境を一体化した「学びの拠点」です。個人学習・グループ学習にも利用しやすくなっています。

オープンな教室配置の事例

普通教室の前には、広いオープンスペースが確保されており、多様な学習方法に対応するとともに、展示や集会など、多目的な利用が可能となっています。

環境に配慮した学校づくりの事例

地域資源の登り窯を模した大階段・吹き抜け構造に中庭やハイサイドライトを立体的に配置することで、光や風を大空間にやさしく取り込む仕組みとなっています。

4. 委員会では次のような意見がでました。

■『つながり』の視点を大事にしていきたい

・各務原市のこれからの学校施設のあるべき姿の検討においては、子どものつながり、地域とのつながり、教師のつながりなど『つながりの深化』という視点は大事にしていきたい。

■多様な子どもたちを、誰一人取り残すことなく育成すること（個別最適な学び）にも配慮が必要

・つながりを重視する一方で、学校への行きづらさを感じる子どもへの配慮も柱の一つとして捉え、しっかり議論していきたい。
・現在も、教室に入れない子のための相談室として空き教室を利用したりと工夫しているが、今後の学校施設のあり方を検討する上では学級復帰のための場所や居場所づくりなどは不可欠となるのではないか。

■教職員にとっての職場環境の充実も大切

・教職員の職場環境への配慮も重要。職場改革の一環としてラウンジなどの休憩スペースなど、他都市の事例で学べるところがあれば取り入れていきたい。また、現場の教職員の声をしっかり聞いて取り入れていきたい。

■委員会の検討内容について

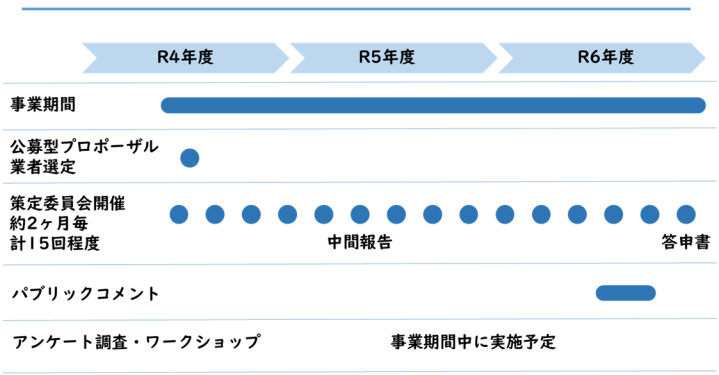
・一人ひとりの個別最適化、ICT における新たな学びの環境や学び舎の地域開放について検討できると良い。
・各務原市としての特色を生かした学校施設のあり方を議論する必要がある。

5. 今後のスケジュール

委員会は、2 ヶ月に 1 回程度（計 15 回程度）の開催を予定しています。各務原市における学校施設の「あるべき姿」について、様々な視点からの検討を進め、令和 6 年度末の答申に向けて進めていきます。

市民の皆様には、アンケートやワークショップを通してご意見をいただき、委員会へフィードバックしていく予定です。なお、委員会は、傍聴することができます。

（開始時刻 10 分前締切。人数により抽選。）



※委員会の日程は、市のホームページに掲載します。2 ヶ月に 1 回の開催予定です。

【お問合せ先】各務原市役所　教育委員会事務局学校施設課　施設整備係
TEL：058-383-1814（直通）FAX：058-389-0218
E-mail：gakkoshisetsu@city.kakamigahara.gifu.jp